

教科	算数科	1年
----	-----	----

江戸川区立松江小学校

単元名	時数	目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
●なかよしあつまれ	5	ものものごとを対応させることによって個数を比べることができるとともに、身のまわりのものの集合を捉える力を身につける。また、数や形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	ものものごとを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。	観念に応じて、身のまわりのものの集合を捉えている。	数や形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
1. いくつか	8	10までの数について、個数の比べ方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数のまとまりに着目して数の大きさの比べ方や数え方を考える力及び数の構成に着目して数を多面的に捉える力を養うとともに、数に親しみ、数で表すこと及び比べることよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	10までの数について、1対1対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、集合の要素の個数を比べたり、数を正しく数え数字を読んだり書いたり、数の合成、分解をしたりすることができる。	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目し、一つの数をほかの2つの数の和や差として捉え言葉や半具体物などを用いて表現したりしている。	数の比べ方や数え方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
2. なんばんめ	4	数を用いた順序の表し方を理解し、基点に着目して順序を考える力を養うとともに、数を用いて順序を表すことよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	数を用いた順序や位置の表し方を理解し、数を用いて順序や位置を表すことができる。	数を順序や位置を表すものとしてみて、基点に着目して順序や位置を考え、数を用いて順序や位置を表現している。	数を用いて順序や位置を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
3. いまなんじ	1	何時、何時半の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。	短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。	時刻に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
4. いくつといくつ	7	10までの数について、1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみることができるとともに、数の合成・分解について具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみることができるとともに、数の合成・分解について具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。	数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
5. ぜんぶでいくつ	9	加法の意味と和が10以内の加法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して加法の意味や加法計算の仕方を考える力を養うとともに、加法の意味や加法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	合併や増加など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解し、和が10以内の加法計算が確実にできる。	加法の意味に着目し、合併や増加などの場面を加法の式に表し、その計算の仕方を1位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	加法の意味や加法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
6. のこりはいくつ	7	減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して減法の意味や減法計算の仕方を考える力を養うとともに、減法の意味や減法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	求残や求補、求差など、減法が用いられる場合について知り、減法の意味を理解し、被減数が10以内の減法計算が確実にできる。	減法の意味に着目し、求残や求補、求差などの場面を減法の式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	減法の意味や減法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
7. どれだけおおい	3	減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。	数量関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。	数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
8. 10より大きいかず	10	40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10をひとまとまりにして数の数え方などを考える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、数で表すことよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、40までの数を数え数字を読んだり書いたり、20までの数の構成を加法や減法の式に表すことができる。	10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
9. かずをせいりして	2	ものの個数について簡単な絵や図に表す方法を理解し、データの個数を簡単な絵や図に表し、それらの特徴を読み取る力を養うとともに、簡単な絵や図を用いてデータの個数を表したり、捉えたりしたことを振り返り、日常生活に活用しようとする態度を養う。	ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。	データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴を捉えている。	簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
10. かたちあそび	4	身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特徴や機能を捉え、立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、立体図形の形に着目して特徴や機能を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能を捉えたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして、表現している。	身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
11. 3つのかずのけいさん	3	3つの数の加減計算の仕方を理解し、3つの数の加減計算の仕方を操作や式を用いて考える力を養うとともに、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	3つの数の加減計算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算が確実にできる。	2つの数の加法や減法を基にして、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え表現している。	3つの数の加減計算について、式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

12. たしざん	8	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	1位数どうしの加法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
13. ひきざん	10	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	数の構成に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
14. くらべかた	9	量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	長さ、かさ、広さなどの量を具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。	身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見出している。	身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
15. 大きな かず	11	2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10を単位として数を捉える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、数で表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、120程度までの数を数え数字を読んだり書いたり、2位数の数の構成を加法や減法の式に表すことができる。	既習の数の表し方の仕組みを基に、120程度までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
16. なんじなんぶん	3	何時何分の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。	短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。	時刻に関心を持ち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
17. どんなしきになるのかな	5	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、数量の関係を図に表し計算の意味を考える力を養うとともに、加減の意味を図に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習に活用しようとする態度を養う。	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。	数量の関係に着目し、順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図や式に表して考え、表現している。	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表して問題を解決した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
18. かたちづくり	5	身の回りにあるものの形について、基本的な平面図形の特徴を捉え、平面図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、平面図形の形に着目して特徴を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	身の回りにあるものの形について、その概形や特徴を捉え、中空のものも中実のものと同じように見られることを理解し、色板や棒を並べているものものの形を構成したり分解したりすることができる。	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴を捉えたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。	身の回りにあるものの形について、形の特徴を捉えたり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

教科	算数科	2年
----	-----	----

江戸川区立松江小学校

単元名	時数	目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
●みんなで算数をはじめよう	2	算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	問題解決の進め方を理解している。	問題の条件に着目し、題意に合う式を筋道を立てて考えたり表現したりしている。	問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。
1. 表とグラフ	4	簡単な表やグラフについて理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察する力を身につける。データを整理することに進んで関わり、その過程を振り返り、表やグラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができる。	データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。	身のまわりの事象に関心を持ち、表やグラフを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
2. たし算	9	2位数の加法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2位数の加法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	数の仕組みに着目し、2位数の加法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	2位数の加法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

3. ひき算	9	2位数の減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2位数の減法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	数の仕組みに着目し、2位数の減法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	2位数の減法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
4. 長さ	8	長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについて量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、物差しが目盛りの仕組みを理解し、おおよその見当を付け長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定したり、指定された長さの直線をひいたりすることができる。	普遍単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。	身の回りにあるものの長さに関心をもち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
5. 100より大きい数	10	1000までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える力を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。	10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。	10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
●たし算とひき算の図	2	加法と減法のテープ図の見方やかき方を理解する。加法や減法の問題場面をテープ図に表すことができる。	加法、減法の問題場面をテープ図や式に表すことができる。	加法と減法の相互関係をもとに、テープ図の見方やかき方を考えている。	図を用いると場面や数量の関係が捉えやすくなることに気づき生活や学習に活用しようとしている。
6. たし算とひき算	9	百の位に繰り上がる2位数などの加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がり・繰り下がりがない3位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	百の位に繰り上がる加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。百の位から繰り下がる減法の計算の仕方を理解し、筆算ができる。	百の位に繰り上がる加法の計算のしかた、百の位から繰り下がる減法の計算のしかたについて、既習の計算や十進位取り記数法による数の表し方などをもとに図や式などを用いて考えている。	加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
●何人いるかな	1	重なりがある場合などの順序数の加法を理解する。	全部で何人いるかななどを考え、加法の式に表すことができる。	順序数の加法の場面を図などを用いて表し、計算のしかたを考えている。	加法及び減法の式を用いて、既習の計算などをもとに主体的に考えたり、加法及び減法を生活や学習に活用しようとしたりしている。
7. 時こくと時間	4	時刻と時間の概念、日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考える力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	時刻と時間の区別、及び日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、時刻や時間を求めたり、表したりすることができる。	時間の単位に着目し、図などを用いて時刻と時間の求め方を考え、説明している。	時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
8. 水のかさ	7	体積について、測定などの活動を通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、体積について量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	体積について単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、おおよその見当を付け体積の単位を適切に選択して身の回りに入る入れ物に入る水の体積を測定することができる。	長さの学習を基に、普遍単位の必要性に気づき、身の回りに入る入れ物の特徴をその中に入る水の体積に着目して捉え、目的に応じた単位で体積を的確に表現したり、比べたりしている。	加法及び減法の計算のしかたについて、既習の計算などをもとに主体的に考えたり、加法及び減法を生活や学習に活用しようとしたりしている。
9. 三角形と四角形	9	平面図形に進んで関わり、図形についての感覚を豊かにしながら、三角形、四角形などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解し、図形を構成する要素に着目してとらえる力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図したりすることができる。	辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見だし、説明している。	身の回りにあるものの形の中から、三角形や四角形、長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
10. かけ算九九であそぼう	22	乗法の意味について理解し、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質(乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則)を理解し、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(5, 2, 3, 4の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。	数量の関係に着目し、累加の考えや乗数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現している。	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
11. かけ算九九づくり	18	乗法の意味について理解を深め、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(6, 7, 8, 9, 1の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。	数量の関係に着目し、乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え工夫し、表現している。	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や、乗法について成り立つ性質やきまりを用いることのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

12. 長いものの長さ	5	長いものの長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについて量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当を付け長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定し表現することができる。	上位単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、既習の学習を基に長いものの長さを表す単位について考えている。	身の回りにあるものの長さに関心を持ち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
13. 九九の表	6	乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解し、それらの性質を見いだしたり、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考える場合などに活用したりする力を身につける。	乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。	数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	乗法に関して成り立つ性質を見いだすことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
14. はこの形	5	箱の形をしたものを観察したり作ったりする活動を通して、正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、図形を構成する要素に着目してとらえる力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	箱の形をしたものの構成要素について理解し、正方形や長方形を組み合わせたり、ひごなどを用いたりして、箱の形を構成することができる。	頂点、辺、面などの図形を構成する要素に着目し、箱の形の特徴を見だし、説明している。	身の回りにあるものの形の中から、箱の形をしたものを見つけ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
15. 1000より大きい数	10	10000までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える力を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	4位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。	数のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。	数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
16. 図をつかかって考えよう	5	加法と減法の相互関係について理解し、数量の関係に着目し、場面を図に表して構造をとらえ、式について考える力を養うとともに、加法と減法の相互関係を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	加法と減法の相互関係について理解し、加法と減法の相互関係を表した図を用いて、図や式に表し、問題を解決することができる。	数量の関係に着目し、場面を図に表して構造をとらえ、式について考え表現している。	加法と減法の相互関係に関心を持ち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
17. 1を分けて	6	1/2や1/3などの簡単な分数について知り、数とその表現に着目し、分けた大きさの表し方を考える力を養うとともに、具体物や図などを用いて数学的に表現・処理した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	具体物を操作することなどによって、1/2や1/3などの簡単な分数について知り、いくつかに分けた大きさの1つ分をつくったり、それらの大きさを分数を使って表現したりすることができる。	分数について、元の大きさと分けた大きさの関係や、分けた大きさはすべて等しいことに着目して考えている。	具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

教科	算数科	3年
----	-----	----

江戸川区立松江小学校

単元名	時数	目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
みんなで算数をはじめよう！／ひき算のヒミツ	2	算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	問題解決の進め方を理解している。	答えが同じになる式のきまりについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。	問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。
1. かけ算のきまり	8	乗法に関して成り立つ性質やきまりなどの理解を深め、数学的表現を適切に活用して九九の範囲を超える計算の仕方を考える力を養うとともに、乗法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の学習に活用しようとする態度を養う。	乗法に関して成り立つ性質やきまりを理解し、それらを活用して被乗数や乗数が0や10の乗法計算をすることができる。	思考・判断・表現 乗法に関して成り立つ性質やきまりに着目し、九九の範囲を超える乗法の計算方法を、図や式を用いて考え、表現している。	九九の範囲を超える乗法の計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
2. 時こくと時間	6	秒について知り、時間に関する理解を深めるとともに、数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	秒について知り、他の時間の単位との関係を理解するとともに、時刻や時間を求めることができる。	時間の単位に着目し、時間を既習の量と統合的に捉えるとともに、図などを用いて時刻や時間の求め方を考え、説明している。	時刻や時間に関心を持ち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

3. たし算とひき算	13	3～4位数の加減法の筆算の仕方を理解しその技能を身に付け、既習の数の見方や筆算の仕方を活用して筆算の仕方を考える力を養うとともに、筆算の仕方をまとめる過程を振り返り、既習と統合的に捉えようとしたり今後の学習に生かそうとしたりする態度を養う。	3～4位数の加減計算は、2位数などの基本的な計算を基にしてできていることを理解し、それらの計算をすることができる。	数の見方に着目し、2～3位数の場合の筆算の仕方を活用して3～4位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し、筆算の仕方を一般化してまとめている。	3～4位数の加減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
4. わり算／1／2に分けよう	11	除法の意味について理解し、九九一回適用の除法計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、除法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	除法が用いられる場合や除法と乗法などとの関係について知り、除法の意味について理解するとともに、除法計算をすることができる。	数量の関係に着目し、等分除と包含除を除法として統合して捉えるとともに、具体物や図、式を用いて計算の仕方を考え表現している。	除法の意味や計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や今後の学習に活用しようとしている。
5. 長さ	5	量の単位や測定について理解し適切に単位を用いて長さを表したり、およその見当を付け計器を適切に選択して測定したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して既習の単位を含めた単位の間隔を統合的に考える力を養うとともに、身の回りのものの長さを測定した過程を振り返り、量感覚を身に付け、学習に生かそうとする態度を養う。	長さの単位(キロメートル(km))や測定の意味を理解し、長さについての豊かな感覚をもつとともに、それらを活用して適切に長さを単位で表したりおよその見当を付け適切な単位や計器を選択して測定したりすることができる。	身の回りのものの特徴や任意の単位に着目し、測定の方法や単位の関係について説明している。	長さについての単位や測定を用いて身の回りのものの長さを測ったり、既習の単位との関係について考えたりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
6. 表とぼうグラフ	9	棒グラフや二次元表について理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現する力を身につける。また、データを分析することに進んで関わり、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	落ちや重なりがなく項目ごとに分類整理するしかたや、「その他」の意味を理解している。	データを分類整理する観点を定め、落ちや重なりがないように調べたり合計欄をもとに確かめたりするなど、誤りの起きにくい方法を工夫している。	データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
7. あまりのあるわり算／なみ木道	10	わり切れない場合の除法や余りについて理解し、計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、除法の意味や計算の仕方を具体物や図、式を用いて表す力を養うとともに、問題場面における数量の関係に着目し、数学的に処理した過程を振り返り、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	わり切れない場合の除法の計算や余りと除数の大小関係について理解し、それらを活用して数量の関係を捉えることができる。	数量の関係に着目し、わり切れる場合とわり切れない場合の除法を統合して捉え、除法の意味や計算に成り立つ性質について考え、説明している。	日常生活の問題を解決した過程や得られた結果を吟味したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
8. 10000より大きい数	8	万の単位や1億までの整数について知り、十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法(万進法)を基に、大きな数の読み方や計算の仕方を考えるとともに、整数の表し方について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	万の単位や1億までの整数を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1000倍、1/10にした数や数の相対的な大きさを不等号を用いて表す方法を理解している。	整数の仕組みや表し方に着目し、万の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的に捉え説明している。	1億までの数の仕組みや表し方について、統合的に捉えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
9. 円と球	9	円や球の構成する要素や性質について理解しコンパスを用いた作図や長さを測り取ることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して構成の仕方や身の回りのものを円や球として考える力を養うとともに、図形をかいたり確かめたりする活動を振り返り、学習に生かそうとしている。	円の中心や半径、直径について理解し、円に関連して球の直径などを理解し、それらを活用してコンパスで円をかいたり、等しい長さを測り取ったりすることができる。	円や球を構成する要素に着目し、構成の仕方について考えたり、身の回りのものに図形の性質がどのように活用されているかを考えたり、説明している。	円や既習の図形の作図を基に模様をかくなどの活動を通して、身の回りから円や球を見つけたり、図形のもつ美しさに関心をもったりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
10. かけ算の筆算／● かけ算とわり算の図	12	2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方について理解し、確実に計算することや成り立つ性質について理解することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、乗法の成り立つ性質を活用したり、計算を確かめたりするとともに、計算した過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。	数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3位数×1位数の筆算について考え、説明している。	2～3位数×1位数の筆算について、乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
11. 重さ	9	重さの単位と測定について理解し、適切に重さの測定や表し方の選択ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して身の回りのものの重さや重さの単位を統合的に考える力を養うとともに、重さの表し方について考えた過程を振り返り、量感覚を身に付け、日常生活に生かそうとする態度を養う。	重さについて、単位や単位間を理解し、およその見当を付け、適切な計器を選んで測定することができる。	身の回りのものの重さやその単位に着目し、量感や単位の間隔を統合的に考え、説明している。	身の回りにあるものの重さやそれらを数値化することのよさ、普遍単位の必要性を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
12. 分数	10	分数の意味や分数を用いた大きさの表し方を理解し、それらを用いて分数の加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して分数での端数の表し方や小数との関係を考える力を養うとともに、分数の仕組みを用いて考えた過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	端数部分を表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解し、それらを活用して分数の加法及び減法の計算や1/10の位までの小数と分母が10の分数の関係について理解している。	分数は単位量をn等分した1こ分を任意の単位としていることに着目して、数の大きさを比べたり、計算したりする方法を考え、説明している。	分数を用いることで、整数では表すことのできない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表せるようになることを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

13. 三角形	9	作図などを通して二等辺三角形や正三角形の関係や角について理解し、図形の特徴を捉えることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形を構成する要素や構成の仕方を考える力を養うとともに、図形の要素に着目し、図形を考察した過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	作図などの活動を通して、二等辺三角形や正三角形、角の大きさについて知り、それらを活用して基本的な図形の性質や構成する要素を理解している。	図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方考えるときに、基本的な図形の性質について考え、説明している。	辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、学習を通して身の回りのものの形を図形として捉えたことを振り返り、図形の敷き詰めなどの作図に関心を持ったり、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
14. □を使った式と図	5	未知の数量を表す□などの記号を用いて数量の関係を表す式について理解し、数量の関係を式に表したり、□などの記号に数を当てはめて調べたりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数量の関係を簡潔に表したり、式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、数量の関係を表す式を考察した過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	数量の関係を表す式に未知の数量を表す□などの記号を用いることを理解し、それらを活用して問題場面を式や図に表したり、式の意味を読み取って問題場面を考え、□に当てはまる数の調べ方を理解したりしている。	数量の関係や問題場面に着目し、数量の関係を式や図を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて読み取ったりして未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明している。	未知の数量を□などの記号を用いて表すことで、問題場面を式や図に表せることのよさを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
15. 小数／まほうじん	12	小数の意味や表し方について理解し、加法や減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して小数の表し方や仕組み、計算の仕方考えるときに、身の回りにある小数で表された数の意味について振り返り、日常生活に生かそうとしている。	端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解し、それらを活用して1/10の位までの小数の加減の計算をすることができる。	数の表現や数のまとまりに着目し、小数は整数の十進位取り記数法を拡張したものとして捉え、小数を含む数の大小関係や加減の計算方法について考え、説明している。	小数の表し方や意味や加減計算の仕方について、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
16. 2けたの数のかけ算／■ドッジボールのコートをかこう	11	2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算について理解し、確実に計算することや成り立つ性質について理解することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、乗法の成り立つ性質を活用したり、計算を確かめたりするとともに、計算した過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を活用して、2～3位数×2位数の乗法の筆算を計算することができる。	数の構成や既習の2～3位数×1位数の筆算の仕方に着目し、2～3位数×2位数の筆算について考え、説明している。	2～3位数×2位数の筆算について、既習の筆算の計算方法を基に考えられたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
17. 倍の計算	3	ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解するとともに、図や式などを用いて数量の関係を考察する力を身につける。また、倍の計算に進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解している。	ある数量ともう一方の数量との関係に着目し、図や式などを用いて、既習の乗法や除法と関連づけながら演算の意味を考察している。	倍の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
18. そろばん／カレンダーで調べよう	3	そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の計算のしかたを考える力を身につける。また、そろばんに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができる。	そろばんのしくみに着目し、簡単な加法及び減法の計算のしかたを考えている。	そろばんに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
●算数を使って考えよう	2	知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	給食アンケートをまとめた表やグラフをもとに、「すきなメニュー調べ」の結果からよみ取れることを考え、説明する。	表やグラフを用いて表されたデータをよみ取ったり、その根拠についてデータをもとに説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
◎3年のまとめ	4	第3学年の学習内容の問題を解決することができる。	第3学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	数と計算、図形、はかり方、表とグラフについての問題に取り組む。	第3学年で学習した基本的な問題について、それらが確実に身につくように取り組もうとしている。

教科	算数科	4年
----	-----	----

江戸川区立松江小学校

単元名	時数	目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
●みんなで算数をはじめよう！／ペントミノ	2	算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	問題解決の進め方を理解している。	整数の仕組みや表し方に着目し、億や兆の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、大きな数同士の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉え説明している。	問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。

1. 大きな数	9	億や兆の単位について知り、十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法(万進法)に基づき大きな数の読み方や計算の仕方考えとともに、整数の表し方に関わる数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	億や兆の単位を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍や1/10にした数、被乗数と乗数が3位数の整数の乗法計算をすることができる。	整数の仕組みや表し方に着目し、億や兆の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、大きな数同士の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉え説明している。	億や兆の仕組みや表し方について、統合的に捉えた過程や結果を振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
2. わり算の筆算	9	除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	既習の乗法九九を1回用いて商を求める計算及び簡単な2位数を1位数で割る計算の方法を活用し、2～3位数÷1位数の計算をすることができる。	数量の関係に着目し、計算の仕方考えたり、除法に関して成り立つ性質を見出ししたりしたことについて考え、説明している。	2～3位数÷1位数の除法の計算方法を、既習の基本的な計算を基に考えたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
3. 折れ線グラフと表／油分け	10	折れ線グラフの特徴や用い方、分類整理の方法について理解し、それらを活用して資料を折れ線グラフに表したり読み取ったりするとともに、数学的表現を適切に活用して資料の特徴や傾向に着目し、問題解決のためのグラフを選択・判断することを通し、結論について考察する力を養うとともに、資料を折れ線グラフに表し、問題解決のため情報を読み取り、考えた過程を振り返り、日常生活に生かそうとする態度を養う。	折れ線グラフの特徴や用い方、資料を二次元表による分類整理をすることを理解し、それらを活用して資料を折れ線グラフに表したり、それを読み取ったりすることができる。	資料を目的に応じて分類整理し、それらの特徴や傾向に着目して問題解決に適切なグラフを選択して判断し、結論について考え、説明している。	問題解決の過程や資料を分類整理した結果、折れ線グラフを活用した過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
4. 角	8	角の大きさについて単位と測定の意味について理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して角の大きさや図形について考察する力を養うとともに、角を測定した経験を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	角の大きさを回転の大きさとして捉えることを理解し、それらを活用して角の大きさの単位(度 $^{\circ}$)や分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角を作ったりすることができる。	図形の角の大きさに着目し、角の大きさについての表現や三角形などの図形を考察し、説明している。	分度器を用いて角の大きさを測定するなどの数学的活動を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
5. 2けたの数のわり算	14	除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算ができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、除法に関して成り立つ性質について理解している。	数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。	整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
6. がい数	10	概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して目的に合った数の処理の仕方考える力を養うとともに、概数を用いて考えた過程を振り返り、日常の事象に生かそうとする態度を養う。	概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。	日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理するよさについて考え、説明している。	日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
7. 垂直、平行と四角形	14	直線の位置関係や四角形の構成について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形の構成の仕方考える力を養うとともに、図形の性質を考察した過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	直線の平行や垂直の関係を理解し、それらを活用して平行四辺形やひし形、台形について理解している。	辺の位置関係や構成要素に着目して、様々な四角形の性質を見出し表現したり、四角形の対角線の特徴を統合的に考えたり、説明している。	身の回りから直線の平行や垂直の関係、様々な四角形を見つけることで学習内容を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
8. 式と計算	7	数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質について理解し、正しく計算することができるとともに、数量の関係を式に表したり式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、式のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができる。また、四則に関して成り立つ性質についての理解を深め、その関係を○、△などを用いて式に表したり、数をあてはめて調べたりすることができる。	・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。また、計算に関して成り立つ性質を用いて計算のしかたを考えている。	数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質に関わることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
9. 面積／つないだ輪を切って	13	平面図形の面積に関する単位について理解し正方形や長方形の面積を計算して求めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して面積の求め方や面積の単位と既習の単位との関係について考える力を養うとともに、単位面積を基に考察した過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	面積の単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積を求められることやその求め方、面積の単位間関係を理解するとともに、面積についての量感を身に付けている。	量や乗法の学習を基に、単位面積や図形の構成要素に着目して、単位面積の何こ分かて数値化することや辺の長さをういて面積を求めることについて考え、説明している。	面積を数値化して表すことのよさや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

10. 整理のしかた	6	データを2つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、二次元表に表したりよんだりすることができるとともに、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、二次元表の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表したりよんだりすることができる。	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、二次元表を用いて問題を解決したり、その結論について考察したりしている。	データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
11. くらべ方	5	ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることについて理解し、簡単な場合について割合を求めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して二つの数量同士の関係の比べ方を考える力を養うとともに、割合を用いて比べた過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	簡単な場合についての割合を活用して、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べることができる。	日常の事象における数量の関係に着目し、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係について割合を用いて考え、説明している。	簡単な場合について、割合を用いて比べたことを振り返り、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
12. 小数のしくみとたし算、ひき算	13	小数の意味や表し方について理解し、加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して小数の仕組みや計算の仕方を考えるとき、十進位取り記数法を基に整数や小数の仕組みを考えた過程を振り返り、日常生活に生かそうとする態度を養う。	1/100の位、1/1000の位の小数の表し方や仕組みについて理解し、それらを活用して加法や減法の計算をすることができる。	1/10未満の数の仕組みや数を構成する単位に着目し、小数の加法や減法の計算の仕方、数の相対的な大きさについて考え、説明している。	1/10未満の小数の表し方及び加法や減法の計算の仕方について、十進位取り記数法のよさや整数や小数の仕組みと関連づけて考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
13. 変わり方	5	伴って変わる二つの数量について、表を用いて調べたり式に表したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して変化や対応の特徴について考える力を養うとともに、二つの数量について考察した過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	伴って変わる二つの量の関係を、表を用いて変化や対応の特徴を調べたり、□や○などを用いて式に表したりすることができる。	伴って変わる二つの量の関係に着目して、表や式を用いて変化や対応の特徴について考え、説明している。	主体的に問題解決に取り組むとともに、関係を表で調べることのよさや関係を□や○などを用いた式に簡潔に表せることのよさを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
14. そろばん	2	そろばんの仕組みについて理解し、加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の計算の仕方を考える力を養うとともに、そろばんの仕組みを考えた過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	そろばんの仕組みを活用して億や兆の大きい数や小数の加法及び減法の計算をすることができる。	十進位取り記数法に着目し、そろばんを用いて計算する方法を考え、説明している。	そろばんの仕組みと数の仕組みを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしていたりしている。
■方眼で九九を考えよう	1	方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて捉え、分配法則についての理解を深める。	九九の答えを方眼のます目で表したものを使って、 $5 \times 3 + 5 \times 4 = 5 \times 7$ になることを説明したり、九九の総和を求めたりする。	分配法則が成り立つことや九九の総和の求め方を、方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて考えている。	しくみのよさに気づき、大きな数や小数の計算のしかたを考えようとしている。
15. 小数と整数のかけ算、わり算	15	乗数や除数が整数の場合の小数の乗除計算の仕方について理解し、筆算を用いて計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して筆算や計算の工夫を考える力を養うとともに、計算の仕方を既習事項を基に考えた過程を振り返り、日常生活や学習を生かそうとする態度を養う。	既習の乗除の計算の仕方を基に、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の仕方を理解し、計算をすることができる。	位に着目し、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の仕方を考え、説明している。	小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の仕方を、既習の乗除の計算の仕方を基に考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
16. 立体	9	立体図形や直方体における直線や平面の関係について理解し説明することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、図形の性質について考える力を養うとともに、図形を構成する要素や位置関係に着目し考察したことを振り返り、学習に生かそうとしている。	直方体や立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係、平面上や空間にあるものの位置の表し方を理解し、それらを活用して展開図や見取図をかいたり、位置を表したりすることができる。	立体図形の構成要素や位置関係に着目して、直方体や立方体の特徴や性質を考え表現したり、直方体に関連づけて、直線や平面の垂直や平行の関係、ものの位置の表し方を捉えたり説明している。	図形について、構成する要素や位置関係に着目して捉えたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

17. 分数の大きさとたし算、ひき算／部屋分けパズル	11	分数とその計算について理解し、同分母分数の加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数を構成する単位について考える力を養うとともに、分数とその加法及び減法の計算方法について考えた過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	分数の意味や表し方、その加法及び減法の計算方法について理解し、1より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、簡単な場合について同値分数があることを説明したりすることができる。	数を構成する単位分数に着目し、同値分数や分数の加法及び減法の計算方法を考え、説明している。	1より大きい分数を仮分数や帯分数で表すこと、よさや分数を単位分数の個数で捉え、加法及び減法の計算方法を考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
●算数を使って考えよう	2	知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	リサイクルに関するアンケート結果をまとめた表をもとに、データをよみ取ったり、棒グラフに表したりする。また、市のごみの量と人口に関するグラフを説明する記事を見て、この説明が正しいかどうかを判断し、理由を説明する。	表やグラフを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論について多面的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
◎4年のまとめ／プログラミングにちょうせん	2	第4学年の学習内容の問題を解決することができる。	第4学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	数と計算、図形、変化と関係、データの活用についての問題に取り組む。	第4学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組みようとしている。

教科	算数科	5年
----	-----	----

江戸川区立松江小学校

単元名	時数	目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
1.整数と小数	3	整数及び小数の表し方についての理解を深め、数学的表現を適切に活用して数の表し方の仕組みを考える力を養うとともに、十進数としての特徴を統合的に捉えようとして、そのよさに気づき今後の生活や学習に生かそうとして、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	整数及び小数について、10倍、100倍、1000倍(1/10、1/100、1/1000)したときの位や小数点の移動の仕方を理解し、それらの大きさの数をつくることができる。	数の表し方に着目し、整数及び小数について十進数として統合的にとらえるとともに、十進位取り記数法をもとに図や式を用いて計算の仕方を考え表現している。	整数及び小数の十進数としての特徴について統合的に捉えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
2.体積	11	立体の体積について理解し、立体を構成する要素に着目して体積の求め方を考える力を養うとともに、体積の求め方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとして、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	体積の単位を知り、立方体及び直方体の体積の計体積の単位を知り、立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解するとともに、体積を求めることができる。算による求め方について理解するとともに、体積を求めることができる。	体積の単位や立体を構成する要素に着目し、立体の体積の求め方を考えると、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を統合的に捉え、説明している。	立体の体積の単位や体積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
3.2つの量の変わり方	8	簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量やそれらの関係を表を用いて考える力を養うとともに、伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見いだすことができる。	伴って変わる2つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係を捉え、説明している。	簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
4.小数のかけ算	11	乗数が小数の場合の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を乗法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、乗法の意味を捉え直したり今後の生活や学習に活用しようとして、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	乗数が小数の場合の乗法の意味や、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算ができる。	乗法の意味に着目し、乗法の性質を活用して、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	乗数が小数の場合の乗法の意味を捉え直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
5.合同と三角形、四角形	14	図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目して図形の性質について考える力を養うとともに、図形を合同という観点で考察した過程を振り返り、合同の観点から既習の図形を捉え直したり今後の生活や学習に活用しようとして、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解するとともに、合同な図形を弁別したりかいたりすることができる。	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、合同な図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて説明している。	合同という観点で既習の図形の性質を見直したり、対角線に着目して合同な図形を捉えたりしたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

6.小数のわり算	13	除数が小数の場合の除法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を除法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、除法の意味を捉え直し今後生活や学習に活用しようとする態度を養う。	除数が小数の場合の除法の意味について理解するとともに、除数が小数の場合の除法の計算ができる。	除法の意味に着目し、除法の性質を活用して、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	除数が小数の場合の除法の意味を捉え直し、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
7.整数の見方	11	偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深め、観点を決めて整数を類別したり数の構成について考えたりする力を養うとともに、整数を乗法や除法に着目して類別した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	偶数、奇数、及び倍数、約数について知り、それらの意味について理解するとともに、偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めたりすることができる。	乗法及び除法に着目し、整数を偶数と奇数の二つの集合に類別して捉えたり、倍数と約数の集合を捉えたりするとともに、整数の性質を図や式を用いて考え表現している。	整数の性質について、観点を決めて類別したり、倍数と約数の集合を捉えたりした過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
8.分数の大きさとし算、ひき算	9	分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、通分、約分の仕方や計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、通分、約分の仕方や異分母の分数の加減計算の仕方を分数の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の学習に活用しようとする態度を養う。	分数の性質や通分、約分の意味、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解するとともに、通分や約分、異分母の分数の加減計算ができる。	単位分数に着目して、分数の相当及び大小関係や、異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	通分や約分の意味や、異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを今後の学習に活用しようとする態度を養う。
9.平均	7	平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法について図や式を用いて考える力を養うとともに、平均の意味や平均を求める方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	平均の意味について理解するとともに、測定した結果の平均を求めることができる。	概念的に捉えることに着目して、測定した結果を平均する方法を図や式などを用いて考え表現している。	平均の意味や、測定した結果を平均する方法を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
10.単位量あたりの大きさ	12	異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、単位量あたりの大きさをういた比べ方や表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、単位量あたりの大きさの意味や表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さや単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量あたりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。	異種の2量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。	速さや単位量あたりの大きさの意味及び表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
11.わり算と分数	6	整数の除法の結果を分数で表すことを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができるとともに、分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。	分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりしている。	分数について、数学的に表現・処理したことを振り返り多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用したりしている。
12.割合	12	2つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、その表し方についての百分率を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。	2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。	2つの数量の関係の比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
13.割合とグラフ	7	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方や、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察する力を養うとともに、統計的な問題解決の方法についての数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方や、データの収集や適切な手法の選択などを理解し、統計的な問題解決をすることができる。	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。	統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
14.四角形や三角形の面積	16	四角形や三角形の面積の求め方を理解し、図形の構成要素に着目して面積の求め方を数学的表現を用いて考える力を養うとともに、四角形や三角形の面積の求め方を考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式を用いて面積を求めることができる。	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、既習の面積の求め方を基にして、図や式を用いて面積の求め方を考え、表現している。	平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積を、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

15.正多角形と円	11	正多角形の性質や円周率の意味について理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えたり図形の性質を見いだしたりする力を養うとともに、円と関連させて正多角形の性質を捉えたり、円周率について帰納的に考察したりした過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	正多角形の性質や円周率の意味を理解し、円を使って正多角形をかいたり、円周率を使って直径や円周の長さを求めたりすることができる。	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、正多角形の性質を見いだしたり、円を使った正多角形のかき方を考えたり、円周率が一定であることを捉えたりして、説明している。	円と関連させて正多角形の性質やかき方を考えたり、円周率について帰納的に考えたりした過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
16.角柱と円柱	6	角柱、円柱の意味や性質について理解し、図形を構成する要素に着目して図形の性質を見いだしたり図形の展開図のかき方について考えたりする力を養うとともに、図形を角柱、円柱として考察した過程を振り返り、既習の図形を角柱として捉え直したり、今後の生活や学習に活用しようとしていたりする態度を養う。	角柱、円柱の意味や性質について理解し、角柱、円柱の展開図をかいて構成することができる。	図形を構成する要素に着目し、角柱、円柱の構成要素やそれらの位置関係の性質を見だし、その性質を基に既習の図形を捉え直し、説明している。	既習の図形を角柱として捉え直したり、角柱、円柱の性質を考察したりした過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

教科	算数科	6年
----	-----	----

江戸川区立松江小学校

単元名	時数	目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
●みんなで算数をはじめよう！ 不思議なパスカルの三角形	2	算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	問題解決の進め方を理解することができる。	パスカルの三角形のきまりについて多面的に捉え、筋道を立てて考えたり表現したりすることができる。	問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしていたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしていたりすることができる。
1. 文字を使った式	6	数量を表す言葉や口、○、△などの記号の代わりに、x、a、bなどの文字を用いて式に表すことを理解し、問題場面の数量の関係を、式を用いて簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、文字を用いた式の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量を表す言葉や口、○、△などの記号の代わりに、x、a、bなどの文字を用いて式に表したり、文字に数をあてはめて調べたりすることができる。	問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。	文字を用いた式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習にかつようようとしていたりしている。
2. 分数と整数のかけ算、わり算	7	分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。	分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算のしかたを多面的に捉え考えている。	分数×整数の乗法、分数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
3. 対称な図形	11	対称な図形について理解し、対称性といった観点から図形の性質を考察したり、線対称な図形や点対称な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	対称な図形について理解し、線対称な図形や点対称な図形を作図することができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりしている。	対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
■対称なデザイン	1	図形の対称性の美しさやよさに気づき、対称な図形について理解を深める。		身のまわりから対称な図形を見つけ、対称な図形の美しさや機能性などについて考えている。	
4. 分数のかけ算	11	乗数が分数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	乗数が分数である場合の乗法の意味について理解し、分数の乗法の計算ができる。また、分数の乗法についても整数や小数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	分数の意味やしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。	分数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

5. 分数のわり算	12	除数が分数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	除数が分数である場合の除法の意味について理解し、分数の除法の計算ができる。また、分数の除法についても整数や小数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、除数が分数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。	分数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
■切り紙遊び	1	対称な図形の性質を振り返り、理解を深める。		図形の対称性に着目し、切り紙遊びの活動でできる形について考えたり表現したりしている。	
6. データの見方	11	代表値や、度数分布を表す表とグラフ、及び統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、統計的な問題解決のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	代表値の意味や求め方、度数分布表を表す表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。また、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を知っている。	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性に考察している。	データを収集したりすることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
7. 円の面積	9	円の面積の計算による求め方について理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、面積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	円の面積の計画による求め方について理解している。	図形を構成する要素などに着目し、円の面積の求め方を見出しているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。	円の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
■ピザの面積を比べよう	2	1つの大きな円の面積と、復習の小さな円の面積が等しくなるときの理由について、式に着目して筋道を立てて説明することができる。		1つの大きな円の面積と、複数の小さな円の面積が等しくなるときの理由について、式に着目して筋道をたてて考えている。	
8. 比例と反比例	13	比例の関係について理解し、比例の関係を用了問題解決の方法や、反比例の関係について知るとともに、伴って変わる2つの数量の関係について表や式、グラフを用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の関係について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度や、学習したことを生活に活用しようとする態度を養う。	比例の関係の意味や性質を理解している。また、比例の関係を用了問題解決の方法や、反比例の関係について知っている。	伴って変わる2つの数量を見だして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見だしているとともに、それらを日常生活に生かしている。	伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
9. 角柱と円柱の体積	6	角柱及び円柱の体積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、体積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解し、それらの体積を公式を用いて求めることができる。	図形を構成する要素に着目し、角柱及び円柱の体積の求め方を見出しているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。	角柱及び円柱の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
10. 比	9	比について理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくらうことができるとともに、図や式などを用いて数量の関係を比べ方を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、比を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくらうことができる。	日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係を比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。	比について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
■うさぎとかめ	1	グラフから伴って変わる2つの数量の関係をよみ取り、関数グラフについての理解を深める。		時間と道のりの関係を表したグラフをよみ取り、かけっこの勝ち負けについて考え判断している。	
11. 拡大図と縮図	11	拡大図や縮図について理解し、2つの図形間の関係を拡大、縮小の関係という観点で考察したり、構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	拡大図や縮図について理解し、それらの図形を作図することができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに日常生活に生かしている。	拡大図や縮図について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
●およその面積と体積	2	身の回りにある形の概形を捉えて、およその面積を求めることができる。	身のまわりにある形の概形を捉えて、およその面積を求めることができる。	身のまわりにある形のおよその面積や体積を求める場合に、概形を捉えて測定しやすい図形とみたり、測定しやすい図形に分割したりすることを考えている。	身のまわりにある形について、その概形を捉えておよその面積を求めようとしていたり、生活や学習に活用しようとしていたりしている。
■地上絵をかこう	2	校庭に地上絵(原図の50倍の拡大図)をかき方法を理解する。		拡大図のかき方を日常生活の問題解決に生かしている。	

12. 並べ方と組み合わせ	8	起こりえる場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知り、落ちや重なりなく調べる方法を考察する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	起こりえる場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知っている。	事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。	起こりえる場合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
●算数を使って考えよう	2	知識・技能等を活用し、課題解決の着眼の構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。		ドットプロットを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論の妥当性について批判的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
◎6年のまとめ	2	第6学年の学習内容の問題を解決することができる。	数と計算、図形、変化と関係、データの活用についての問題に取り組む。	第6学年の学習内容について、知識及び技能を身につける。	第6学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。
◎算数をふり返ろう！	10	小学校の学習内容の問題を解決することができる。	小学校の算数の学習内容について、知識及び技能を身につけている。		小学校の算数の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。
◎もっと楽しもう！	13	小学校の算数の学習を広げ、中学数学の理解の基礎となる内容に触れることをとおして、算数・数学への関心を高める。			算数の問題に関心をもち主体的に取り組んだり、数学のよさに気づき、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

四角形や三 角形の面積 の求め方を 理解し、図形 の構成要素 に着目して面 積の求め方 を数学的表	平行四辺形、 三角形、台 形、ひし形な どの面積の 求め方を理 解し、公式を 用いて面積を 求めることが	平行四辺形、 三角形、台 形、ひし形な どの構成要 素や性質に 着目し、既習 の面積の求 め方を基にし	平行四辺形、 三角形、台 形、ひし形な どの面積を、 図や式など の数学的表 現を用いて考 えた過程を振
--	---	--	---